

12 ( '10 千葉大 )

【難易度】…標準

$a, b$  は実数とする . 関数  $f(x)$  は ,  $f(x) = a \sin x + b \cos x + \int_{-\pi}^{\pi} f(t) \cos t \, dt$  を満たし , かつ ,  
 $-\pi \leq x \leq \pi$  における最大値は  $2\pi$  である . このとき ,  $\int_{-\pi}^{\pi} \{f(x)\}^2 \, dx$  を最小にする  $a, b$  の値と , その最小値を求めよ .

【テーマ】: 定積分で表された関数

方針

$\int_{-\pi}^{\pi} f(t) \cos t \, dt$  は定数なので ,  $A$  と置きます . そうすれば ,  $A$  の値を求めることができるため ,  $f(x)$  が決定できます .

解答

$A = \int_{-\pi}^{\pi} f(t) \cos t \, dt$  とおくと ,  $f(x) = a \sin x + b \cos x + A$  であるから ,

$$\begin{aligned} A &= \int_{-\pi}^{\pi} (a \sin t + b \cos t + A) \cos t \, dt \\ &= \int_{-\pi}^{\pi} (a \sin t \cos t + b \cos^2 t + A \cos t) \, dt \end{aligned}$$

ここで ,  $\sin t \cos t$  は奇関数 ,  $\cos^2 t, \cos t$  は偶関数であるから ,

$$\begin{aligned} A &= 2 \int_0^{\pi} (b \cos^2 t + A \cos t) \, dt \\ &= \int_0^{\pi} \{b(1 + \cos 2t) + 2A \cos t\} \, dt \\ &= \left[ b \left( t + \frac{1}{2} \sin 2t \right) + 2A \sin t \right]_0^{\pi} \\ &= b\pi \end{aligned}$$

よって ,  $f(x) = a \sin x + b \cos x + b\pi$  である .

$$f(x) = \sqrt{a^2 + b^2} \sin(x + \alpha) + b\pi \quad \left( \text{ただし , } \sin \alpha = \frac{b}{\sqrt{a^2 + b^2}}, \cos \alpha = \frac{a}{\sqrt{a^2 + b^2}} \right)$$

$-\pi \leq x \leq \pi$  において ,  $-1 \leq \sin(x + \alpha) \leq 1$  であるから ,

$$\begin{aligned} -\sqrt{a^2 + b^2} &\leq \sqrt{a^2 + b^2} \sin(x + \alpha) \leq \sqrt{a^2 + b^2} \\ -\sqrt{a^2 + b^2} + b\pi &\leq \sqrt{a^2 + b^2} \sin(x + \alpha) + b\pi \leq \sqrt{a^2 + b^2} + b\pi \\ -\sqrt{a^2 + b^2} + b\pi &\leq f(x) \leq \sqrt{a^2 + b^2} + b\pi \end{aligned}$$

$f(x)$  の最大値は  $2\pi$  であるから ,

$$\sqrt{a^2 + b^2} + b\pi = 2\pi \iff \sqrt{a^2 + b^2} = (2 - b)\pi \dots\dots \textcircled{1}$$

である .

$$\begin{aligned} \int_{-\pi}^{\pi} \{f(x)\}^2 \, dx &= \int_{-\pi}^{\pi} (a \sin x + b \cos x + b\pi)^2 \, dx \\ &= \int_{-\pi}^{\pi} (a^2 \sin^2 x + b^2 \cos^2 x + b^2 \pi^2 + 2ab \sin x \cos x + 2b^2 \pi \cos x + 2ab\pi \sin x) \, dx \\ &= 2 \int_0^{\pi} (a^2 \sin^2 x + b^2 \cos^2 x + b^2 \pi^2 + 2b^2 \pi \cos x) \, dx \\ &= 2 \int_0^{\pi} \left( a^2 \cdot \frac{1 - \cos 2x}{2} + b^2 \cdot \frac{1 + \cos 2x}{2} + b^2 \pi^2 + 2b^2 \pi \cos x \right) \, dx \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
&= 2 \left[ \frac{a^2}{2}x - \frac{1}{4} \sin 2x + \frac{b^2}{2}x + \frac{1}{4} \sin 2x + b^2\pi^2x + 2b^2\pi \sin x \right]_0^\pi \\
&= 2 \left( \frac{a^2}{2}\pi + \frac{b^2}{2}\pi + b^2\pi^3 \right) \\
&= (a^2 + b^2)\pi + 2b^2\pi^3 \\
&= (2 - b)^2\pi^3 + 2b^2\pi^3 \quad (\because \text{①}) \\
&= \pi^3(3b^2 - 4b + 4) \\
&= \pi^3 \left\{ 3 \left( b^2 - \frac{4}{3}b \right) + 4 \right\} \\
&= \pi^3 \left\{ 3 \left( b - \frac{2}{3} \right)^2 + \frac{8}{3} \right\}
\end{aligned}$$

よって、 $b = \frac{2}{3}$  のとき、 $\int_{-\pi}^{\pi} \{f(x)\}^2 dx$  は最小値  $\frac{8}{3}\pi^3$  をとる。また、このとき、① から  $a$  の値は、

$$\begin{aligned}
a^2 + b^2 = (2 - b)^2\pi^2 &\iff a^2 = (2 - b)^2\pi^2 - b^2 \\
&= \left( 2 - \frac{2}{3} \right)^2 \pi^2 - \frac{4}{9} \\
&= \frac{16}{9}\pi^2 - \frac{4}{9} \\
&= \frac{4}{9}(4\pi^2 - 1)
\end{aligned}$$

よって、 $a = \pm \frac{2}{3}\sqrt{4\pi^2 - 1}$  である。

以上より、

$$\text{最小値} : \frac{8}{3}\pi^3 \quad \left( a = \pm \frac{2}{3}\sqrt{4\pi^2 - 1}, \quad b = \frac{2}{3} \right) \cdots \cdots (\text{答})$$

◆ ◆ ◆  
**解説**

前半は、 $\int_{-\pi}^{\pi} f(t) \cos t dt$  が定数であることがポイントです。定数ということは  $x$  とは無関係なので、 $A$  とおきます。そうすると  $f(x)$  が  $A$  を用いて表せるので、この  $f(x)$  を  $f(t)$  として、 $A = \int_{-\pi}^{\pi} f(t) \cos t dt$  へ代入すれば  $A$  の値が求まります。教科書レベルの問題なので、確実にできるようにしておきましょう！ $f(x)$  が決まれば、最大値が  $2\pi$  という条件から  $a, b$  に関する関係式が求められます。 $\int_{-\pi}^{\pi} \{f(x)\}^2 dx$  を計算すると  $a, b$  の式になるため、先ほど求めた  $a, b$  の関係式を用いて  $a$  を消去すれば  $b$  に関する式となり、最小値を求めることができます。方針を立てるのに戸惑うかもしれませんが、与えられた条件をうまく使って一つずつ処理をしていきましょう！